

平成28年3月7日(月)

中日新聞(朝) 12面

子どもの問題 どう向き合う

愛教大でシンポ

不登校や非行など子どもたちが抱える問題との向き合い方を考えるシンポジウムが六日、刈谷市の愛知教育大であった。児童委員や元保護観察官ら学校外で子どもたちと関わる五人を講師に招い

子どもとの向き合い方を話す講師ら刈谷市の愛知教育大で



て、学校と地域の連携について話し合った。教員を志望する「六年一貫教員養成コース」の大学院修士三年

生が、教育現場に出る前の集大成として企画した。他大学の学生や現役の教員ら五十人が集まった。

講師の一人でフリースクールの運営に携わる赤松由隆さんは、日常の様子を報告したり、教員との面会の場を設けたりして学校と連携していると話した。

五人の講師は「決して一人で問題を抱えこまず、報告、相談して周りと連携を取ること」と口をそろえた。